

大里川左岸側道の破損状況について（川崎）

2020年7月

この道路には大小合わせて5～6か所に穴が開いており、7月初旬に泉南市道路課が2～3の穴を補修しましたが、殆どが砂利で瀝青分が少なく僅か数日でバラバラになり元の状態になりました。7月11日、この状態に危険を感じ、川崎が一住民として道路課に別紙要望書を手渡し善処をお願いしました。後日、この要望の件につき小寺区長に報告をしたところ、直ちに道路課に電話をされ事の顛末を確認されました。

数日後、道路課は補修材を使い穴の補修を行いました（小寺区長、川崎が立会い）アスファルトを使用しなかった為、数日で元の状態になりました。さらに数日後今度はアスファルトを使用しようやく補修されました。但し水門近くの穴は道路端にあるため柵を設けて補修材のままです。また道路課では破損の激しい数か所に赤線で囲い、その部分はアスファルト舗装することになっていますが、未だ実行されていません。

浜区ではこの道路について2015年6月に全面舗装の要望をしておりますが、未だ対処されていないことにつき道路課では、本年6月に、ワタキューセイモアの工場建設の為、大阪ガスがガス管進延工事の後道路舗装工事を行うので、これに期待をしているようですが、道路全面舗装か一部舗装か不明であり、何なら道路課と大阪ガスの費用折半で全面舗装を実現すればと提案したところ（川崎）道路課は現在協議中であると回答有り

一方、ワタキューセイモアの工場施工は1年延期されたようであるとの情報があり、事態は流動的となっております。